

2017 年 8 月 14 日

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 八王子ダルク

代表者・役職名 氏名 加藤 隆

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

薬物依存症者回復支援宿泊研修プロジェクト

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

東京ダルク(荒川区)の職員で八王子市出身の代表者が、多摩地域で苦しんでいる薬物依存症者の為に2011年東京ダルク八王子ハウスを開設、2015年NPO法人八王子ダルクとして独立。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

普段は多摩地域で活動していますが、同じ病気で苦しんでいる他地域の人達との交流を深めて自信を取り戻し、回復に繋げていく。また薬物依存症の殆どがこれまで自然に触れることをしてこなかったの、自然に触れて心に安らぎを与える目的もある。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

大型バスを貸切2泊3日で合同宿泊研修を千葉県白里海岸近くの民宿を借りて行。海水浴やサーフィン、バーベキュー、花火大会、グループのミーティング等を通してフェロウシップの向上を図る。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

参加者人数が50名になり、沢山の他地域交流ができ、人との関わりを通して精神的な成長、健康的な活動を通して身体的な成長が出来ました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今回の合同宿泊研修は男性参加者の参加でしたが、女性と合同で出来たり、もう少し離れた場所(例えば伊豆大島)等も考えています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし